戰◆線◆日◆記

本年度 全國大會を議す
第三回 中央委員會

日時 十月三日午後一時
場所 總同盟本部會議室
出席者 松岡會長、西尾總主事、鈴木顧問、三木、齋藤、原、土井、德永、金正、前田、今津、金、各中央委員（福岡會計缺席）

一、會務會計報告
1 產業協力運動の進展と各地の活動
2 鈴木文治氏が日本勞働組合會議顧問並に亞細亞勞働會議々長に就任したる件 外八件

二、議事（大會準備）
1 大會期日 十一月三・四・五日
2 委員長擔當

	委員長擔當	委員數（委員長とも）
資格	東鐵	九
議事	大阪金屬	九
豫算	製綱	九
決算	神聯	九
規約	中合	九
役員	兵庫	一五

3 大會バッチを作製すること（意匠其他會長一任）
4 懇親會 大會第三日夜に開くこと
5 提出議案
本部提出議案 説明者
イ 勞働組合法制定の件 德永正報
ロ 健康保險法改正の件 今津菊松
ハ 團體協約法制定の件 金光平
ニ 失業保險法制定の件 原虎一
ホ 災害扶助法適用範圍擴張の件 前田種男
ヘ 國際勞働條約批准促進の件 金正米吉
ト 賃銀値上による大衆購買力增進の件 土井直作
チ 團體保險法の件 齋藤健一
リ 產業及勞働統制に關する件 西尾末廣

人事
小泉哲二、生野嘉三郎、赤松常子三名を本部書記とする。
岩田正久を同給仕とす。

雄辯大會盛況
……千葉縣聯合會主催

植木君

縣聯主催雄辯大會は、聽衆百名、出演辯士十二名、新會館に於ける第一回會合として、最も意義ある會合であつて、左の如き内容で終始緊張、盛會裡に終つた。
（千葉縣聯合會報）

八月廿日午後七時 市川勞働會館
開會の辭 橫山聯合會長
審査員 齋藤健一、生野嘉三郎二氏
辯士及題目 點數
植木金太郎（產業協力運動について 市川第一） 八六點
小松原榮（勞働運動の使命 船橋支部） 八二點
大和屋政太郎（農村問題と勞働運動 市川第一） 八一點
以下畧

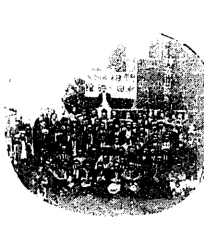
終りて、齋藤審査員より講評あり、賞品として、一等より五等迄の辯士には、辭典をそれ〳〵贈與した。

電線工組合 本年度大會

九月十六日 大阪此花區春日出會館
出席代議員 六八名
議長 前田種男
議案
一、全國大會每年開催の件
一、年二回昇給要求の件
一、非常時打開對策委員會設置の件
一、人夫雇傭制度撤廢の件
外 五件 可決
新役員
組合長 前田種男
主事 泉清
會計 村生忍（以下略）

神奈川聯合會 第九回大會

九月十六日 潮田勞働會館（橫濱市）
議長 三木治朗
副議長 和田純之助
出席代議員 一〇七名
議事
一、神奈川縣產業委員會設置の件
一、自由勞働者賃銀保護法制定の件
一、婦人勞働者保護の件
一、全產聯團體保險絕對反對の件
一、人夫名義の臨時工使用反對の件
外 四件


（神奈川聯合會大會出席代議員）

新役員
會長 三木治朗
主事兼會計 土井直作
會計監査 鈴木彌作、北島菊三郎、大久保喜平治
執行委員 近藤武男、由良多一郎、齋藤勇、關一、和田純之助、日下德丸、門司亮、中西安太郎、小林藤太郎、川畑孝藏、小林淺太郎、木村萬一郎、今村敏、大屋幸男、竹本重信、知久勇太郎

中央合同勞働 第九回大會

九月十六日 日本勞働會館
出席代議員 二百二十四名
議長 齋藤健一
議事
一、玉川水道買收に關する對策委員會設置の件
二、生命火災共濟保險部加盟決議案
三、物價騰貴に伴ふ賃銀値上對策の件
四、中將湯爭議應援對策の件
應援對策委員會を即時開催直ちに會社訪問決議文を突つけた
外 二件
新役員
組合長 齋藤健一
主事兼會計 池善二
執行委員 岡田助雄、中山三三、三輪吉藏、安川巨美、橋爪雅次郎、熊谷安次郎、中原兼光

紡織勞働 第九回大會

九月二十六日 日本勞働會館
出席代議員 一一二名（內婦人一六名）
議長 大越半忠
副議長 山田重太郎
議事
一、標準日給による諸手當支給反對の件
一、婦人勞働者保護に關する件
一、紡織勞働一萬突破猛運動の件
一、定期昇給制度復活要求の件
一、結婚による通勤自由獲得の件
外 四件 可決
新役員
組合長 松岡駒吉
主事 富田繁藏
會計 福岡金次郎
執行委員 大越半忠、齋藤勇、山田重太郎、山口小一郎、赤松常子

東京鐵工 第十一回大會

十月七日 午前十時 日本勞働會館
代議員 二〇七名
議長 內田藤七
副議長 渡邊正志
議事
一、全產聯團體保險排擊の件
一、動員網確立に關する件
一、關西風水害地同志救援金募集の件
外 二件 可決
新役員
組合長 內田藤七
主事兼會計 原虎一
執行委員 熊本虎藏、井堀繁雄、高橋正雄、田村米藏、鵜月五郎、丸山由藏、川端文夫、渡邊正志
本部旗手 妹尾清武、柴田章三郎

大阪金屬 北支部 本年度總會

九月五日 大仁菊水館
議長 池田寅藏
副議長 清水文太郎
議事
一、北奈社利益に關する件外一件
新役員
支部長 木全幸重郎
副支部長 川原金次
幹事長 川上利一郎
會計 稻井金吾（以下略）

運輸勞働 大森支部總會

創立一週年を記念し、併せて總會を開く。
九月六日 大森南倶樂部
出席 全員二十二名本部より富田主事、原虎一、三支部代表者
新役員
支部長 光澤貞治
幹事長 奧田一郎
會計 太刀掛正義（以下略）

東京鐵工 大崎第十一支部總會

九月二十四日 會社食堂
出席者 全員七十六名
議長 渡邊正志
議事
一、支部創立十週年紀念祝賀に關する件
一、作業服統制に關する件 外一件
新役員
支部長 渡邊正志
副支部長 加治屋時義
幹事長 岡本朝一
會計 本田邦光（以下略）

日本縫工組合 通常委員會

九月二十九日 工場娯樂室
出席 男子二十三名
議長 小原源一
議事
一、風水害地關西同志に義捐金を送る件（二十回に決す）
一、現業委員會提出議案審議の件
イ、日給を勤續年數によつて公平に割當てられたし
ロ、豫後備勤務演習期間中、日給全額を支給されたし、外二十六件

この暴状を見よ
中將湯爭議團に暴力團の亂入

抗爭百日をまさに突破せんとしてゐる中將湯爭議團に九月十九日深夜、總檢束後の留守に乘じて、社長津村重舍自ら指揮したる工場側暴力團四十餘名が、亂入し來たり、米、蒲團、その他一切の器物を折柄の雨の中に放り出し、丸太を五寸釘で打ちつけて締出しをなした。爭議團は、直ちに本部に抗議して、三百の同志の應援を得て、再び占領しかへした。寫眞上は投げ出された器物。下は、丸太で釘づけの入口。（十月十五日解決。次號詳報）

勞働字引

排日（ハイニチ） 外國人が、日本人又は日本物價を排斥する運動を云ふ。明治三十年米國桑港に於いて始めて排日大會が開かれ、爾來加州における排日土地法案が州會に提出されるなど猛烈をきわめた。

民族自決（ミンゾクジケツ） 民族が獨立國家を成立するか、いづれの既成國家に屬すべきかについて、民族自體に決せしめると云ふ、ヴエルサイユ講和會議當時、ウイルソンによつて提唱されたもの。

メンタル・テスト 智能檢査、精神考査の意。「人物採用に際しメンタル・テストを行ふ」など用ふ。

テンポ 速度、間拍子と譯す「テンポの早い演説振り」などと云ふ。

敵本主義（テキホンシユギ） 「敵は本能寺にあり」と云ふ明智光秀の言葉から出たもので、Aの目的を持ち乍らも、あたかもBの目的に向つて進むやうにみせかけて、最初のAの目的に達せんとする戰術を云ふ。